

# (特集) NIHSS (脳卒中重症評価) 勉強会風景

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 湯元 純英

NIHSS とは脳卒中神経学的重症度の評価スケールとして世界的にもっとも広く利用されている評価法です。神経症状の 11 項目を評価し、0 点が正常で点数の高いほど重症です。NIHSS は、脳梗塞の治療法と深く関係しています。[脳梗塞](#) 治療法である rt-PA (血栓溶解) 療法では、治療後 1 時間は 15 分ごと、7 時間 (投与後 6 時間) は 30 分ごと、その後 24 時間までは 1 時間ごとに NIHSS を施行するように管理指針が出ています。



NIHSS 講義



NIHSS 演習風景



視野障害の神経所見の方法

今回は、救命救急センタースタッフを対象に NIHSS 勉強会を開催しました。NIHSS の手技を習得することで、脳卒中を発症した患者様の神経所見や全身状態の悪化を早期に発見することができます。各スタッフが同じ評価をするためには、一定のスキルを身につける必要があります。実際に勉強会に参加したスタッフより、実践向けで役立つことのできる内容だったとの声も聞かれています。

今後は、脳卒中患者の事例演習を計画し、取り組んでいく予定です。